



区自治協議会は、区民の皆さんと行政との「協働の要」となるよう、区民の身近なまちづくりや地域課題の解決のため、多様な意見の調整や取りまとめを行っています。活動内容などについて、区民の皆さんに随時お知らせします。

## 部会事業計画



H27年度地域交流事業の様子「第1回南区綱引き合戦」

### 第1部会

#### ・南区公共交通PR事業

南区の区バス・住民バス・乗合タクシーの利用啓発を図り、利用者数増加につなげるため、情報誌などの作成やイベント会場でのPR等を行う。

#### ・南区防犯・防災啓発事業

南区の防犯・防災に係る啓発活動を行い、安心・安全で、住みよいまちづくりにつなげるため、各種啓発グッズ作成や地域を見守る仕組みの検討等を行う。

### 第2部会

#### ・南区「家族ふれ愛月間」

南区「家族ふれ愛月間」事業の定着及びさらなる拡充を図る。

### 第3部会

#### ・南区農商工連携の推進

農商工連携の推進と、南区の産業に対する理解を深めることを目的に、イベント等を実施する。

#### ・地域交流事業

スポーツ活動等を通し、地域同士の交流を深める事業を実施する。

## 白根高等学校長インタビュー

### 地域と高校との関わりについて

南区唯一の高校でありH28年度から学級減少となった白根高校。地域との関わりについて白根高等学校 富樫信浩学校長へインタビューを行いました。



新潟県立白根高等学校 富樫信浩学校長

インタビュー：南区自治協議会第3部会 市嶋 洋介

**市嶋:**白根高校は現在どのような環境で学習していますか？

**校長:**学習面ではICT(ipadなどのタブレット端末)を使った学習を行っています。中学校で習った内容の復習も端末を使ってできるので時代に合った方法だと思います。他には、ヤングボラ

ンティア活動や認知症サポーター養成講座の受講などを行っています。

**市嶋:**白根高校は色々な地域活動に力を入れている印象がありますが、こういった目的なのでしょうか？

**校長:**学ぶということは経験する事だと思っています。そのなかで高校生のうちから地域課題に触れ、関心を持つということも大切だと考えています。

**市嶋:**確かに大人になったら必ず関わっていく事ですよね。

**校長:**はい。白根高校の生徒の約6割は卒業後、地元へ就職しています。卒業後も学校と地域を愛し、人に想いを寄せられる人になってほしい。ボランティア活動の体験もそのきっかけになればよいと思います。

**市嶋:**最後に、白根高校をどのような学校にしていきたいですか？

**校長:**今、子供の減少などから学級減や統廃合が進んでいますが、今後も地域の拠点の場になり、地域から支持されるような高校にしたいと思っています。白根高校の存在価値を地域全体で考えていきたいと思っています。

**市嶋:**ありがとうございました。

## 協働事業の紹介

小林コミュニティ協議会  
～小林地域の子どもは小林で育てる～

## 放課後児童クラブ 「こぼっ子クラブ」

### ❀ 開設に至った経緯は？

- 公設の放課後クラブは、複数年にわたり40人以上見込みがないと開設できないしくみ。小林地区は利用人数が少数のためクラブがなく、白根小学校隣接のひまわりクラブに教育委員会が用意したバスで通っていた。
- 数年前から小林地区に児童クラブを開設してほしいとの要望が多くなり、バスについてもいつまで使えるか不安な状況になってきた。
- H25.6地元の要望を受け小林コミュニティ協議会にて、小林小学校内での開設に向けた検討を開始
- H26.4「こぼっ子クラブ」開設

### ❀ 現在の運営状況は？

- 現在は保護者会の開設、遠足、クラブ活動など公設クラブではできない活動も行い、児童一人ひとりまで配慮した保育計画を行っている。
- 小学校の全面的な協力を得て、現在まで順調に運営。児童や保護者からも信頼を寄せられるまでになった。今後も保護者とともに地域で児童を見守っていききたい。



須田勝施設長より紹介